

第25回 芳賀町 観光写真コンテスト

令和4年1月1日～12月31日撮影

1月13日(金)、審査委員長に大手義雄氏(日本写真協会会員、県写真家協会理事、宇都宮市在住)を迎え、役場大会議室で審査会を行いました。厳正な審査の結果、応募作品108点の中から、最優秀賞1点、特選2点などが選ばれました。

たくさんのご応募ありがとうございました。町の観光PRなどに利用させていただきます。

(敬称略)

岡町観光協会(商工観光課内) ☎028(677)1115



8月6日撮影：稲毛田八雲神社

最優秀賞

古谷 倅一(祖母井)
「太々神楽」

審査委員長講評

手前の人のポイントがしっかりしている。奥行き感が出ていて、ワイドレンズの使い方も良い。



準特選 11月23日撮影：芳賀天満宮
春野 好治(宇都宮市)
「お稚児行列」



準特選 8月30日撮影：芳志戸
江川 清(宇都宮市)
「収穫」



準特選 4月5日撮影：かしの森公園
小林 宗男(上延生)
「桜花繚乱」



12月4日撮影：ロマンの湯

芳賀町観光協会 会長賞

稲川 薫(上延生)
「光と水の共演」



12月4日撮影：道の駅はが

芳賀町写真クラブ 会長賞

江川 多嘉(宇都宮市)
「囃子の音響く」

入選



4月11日撮影：富士山自然公園

特選

大貫 芳雄(市貝町)
「水芭蕉の咲く頃」

審査委員長講評

映り込みがポイント。写真の下が活きている。木道の奥行きがよく出ている。



12月4日撮影：ロマンの湯

特選

大塚 芳彦(西高橋)
「光の競演」

審査委員長講評

決め手は人物を入れたこと。イベントの賑わいが見える。花火の映り込み、色合いなど、良いところをとらえた。



黒崎 修一(下高根沢)
「無病息災ドンドン焼」



富永 明(宇都宮市)
「大きな圃場、稲刈り作柄は」



渡邊 廣壽(壬生町)
「春日和」



佐海 忠夫(真岡市)
「光の共演」



阿久津 幸男(西高橋)
「2022ロードレース②」